



「性暴力」に関する学習会に参加しました。

八尾市民病院が協力病院になっている性暴力救援センター・大阪 SACHICO の阪南中央病院の加藤治子先生の府民向けセミナー「若年層の性暴力被害の実情と被害者支援の取り組みについて」に参加しました。性暴力とは、「身体の統合性と性的自己決定を侵害するもの」と定義され、国連の勧告では、女性 20 万人に1箇所のレイプ・クライシスセンターを設置することが望ましいとされています。ですが、日本の状況は法体制を含めてまだ不備なところが多く、性犯罪を未然に防ぐ体制はまだ十分とは言えません。児童虐待のうち性的虐待も増加しています。特に若年層の性被害の実態は、生活の中で身近な人から被害を受けていることと、SNS で出会う被害は深刻で、警察、児童相談所、学校、法の専門家などの様々な連携、そして何より、女性や子どもたちの性の尊厳を守り、性教育と人権教育が重要ということを感じました。



性暴力救援センター・大阪 SACHICO ホームページ

子どもの好奇心

小さい時の「好奇心」ってとても大事ですね。子どもの好奇心を満たす環境を作り、社会のルールを伝えながら、成長をサポートしていくのが大人の責任だなと思います。

子ども自身が自分のニーズにアクセスする力を育てることが、子どもが自分の幸せに向かって選んで生きていく力になりますよね！「子ども観」を共有し、社会で子どもと子育てを支える八尾市を目指します。ぜひみなさんの声をお届けください。



産後ママの子連れ傍聴記

その日、偶然知り合いが八尾市議会の傍聴に行くと言っていたので、午後から予定もない行ってみようかなと思って、傍聴にいきました。

議場に入ると、とてもシーンとした中で発言が進んでいきます。議会では、知らないことがたくさん話し合われていました。私たちの今ある生活がどんどん話し合われています。子育てに関することであれば、公園のこと、学校のこと、つどいの広場のこと、産後サポートのこと。

議会に行って「今、私たちの暮らしに関わるいろんなことは、こんなことになっているのか。知らないことがたくさんある」ということに気づくことができます。議事が進むに連れて、赤ちゃんの声が出て迷惑かな…と時折、職員の方の視線も気になりましたが、子どもは少しだけあーあーと声を出しておしゃべりしていただけだったので、最後まで傍聴できました。

終わった後は、男性職員さん(執行部の方)が「赤ちゃんの声に癒されたよ～」と声をかけてくださって、行ってよかったなあと思えました。赤ちゃんがグズった時は9階の議会ロビーでもテレビ中継で見ることが出来ます。

私たちの暮らしについてどんな姿勢で皆さんが話されているかを、あの議会の空気感をぜひとも肌で体感して欲しいです。

傍聴に行こう！

私たちの暮らしを「カタチ」づくりの大事な議会。身近な課題を質疑しています。八尾市議会公式 SNS では、議会の取り組みや、本会議、委員会の開会情報、会議の結果などを発信しています。



* Twitter
@yao_shigikai



* Facebook
@yao.shigikai



市議会日程
(予定)

ALI REPORT

市政報告

vol.7
2021年
冬・1

発行:西川あり 八尾市本町2-2-23 TEL/FAX 072-923-0293



八尾市議員
西川あり

ここ2年のコロナ禍で、社会のありようが大きく変わってしまいました。マスクをつけることが当たり前になっていますが、装着が難しい人や、ワクチンを打つことができない人がいることを忘れてはならないと思います。知人の子どもさんが血液の病気で、医師からワクチン接種を止められたそうです。何気ない言葉や会話の中で傷ついておられる方がいるかもしれません。良い点もあります。様々な学習会や講座が、オンラインで受講できることです。遠くにいる方とも顔を見ながら話ができます。障がいの種別によりますが、かえって参加しやすい場合もあるかもしれません。多様な方々との意見交換は、新しい発見につながります。それでも、実際に会って交わす会話のちょっとした言葉から受ける感じや、表情や声のトーンなど、私たちはただ言葉だけを交わしているのではないことを思い知らされます。この人間関係のあり方の変化などが与える、子どもたちへの影響も気にかかるところです。

新型コロナウイルス感染症の影響により、市民生活が厳しい状態になっていることを考慮し、八尾市議会では、毎月の報酬10%、政務活動費20%、期末手当5%減額しています。

要望書を提出しました。

新型コロナ対策を最優先にしながら、人と暮らしを守る施策に向けての要望書を、「八尾の未来を紡ぐ会」より提出しました。

対象者を区別しない地域子育て支援事業の充実・拡充、コロナ禍での子どもの貧困について、(仮称)八尾市子ども総合支援センターの設置について、虐待防止・早期発見・早期対応のための連携、人材配置についてなどの子ども子育て施策についてや、学校での特別教室へのエアコン設置、学校図書司書配置、教職員の働き方改革について、教員多忙化の解消などに向けた学校支援、いじめや不登校への教育施策などを



はじめとした、雇用、福祉、人権、社会インフラ、環境など7つの項目について多岐に渡り要望しました。

シトラスリボンってご存知ですか？

コロナ禍での差別や偏見から、誰もが地域で笑顔で暮らせる社会にする願いを込めた、愛媛から生まれた活動です。その活動に賛同された久宝寺福祉委員会、女性会、更生保護女性会、自治振興委員会、久宝寺小学校PTAの皆さんにお話を伺いました。リボンの3つの輪は、地域、家庭、職場(または学校)を表しているそうです。コロナに負けず、みんなで励ましあえるように、リボンの制作と地域住民へのお届けを始められました。会うこともままならない日々だったそうですが、同じ願い、同じ目的があることで、たとえ隣にいても、つながりが感じられたのではないのでしょうか。まだまだ予断は許されませんがコロナの収束を願って市内の様々な活動が再開されることを祈っています。



八尾市での新型コロナワクチンの3回目接種について

2回目の接種から8ヶ月が経過した人を対象に、接種券が事前に送付されます。接種期間が記載されています。

八尾市新型コロナワクチン接種情報サイト



注目！ コロナ対策追加施策

●コロナワクチン接種を希望する高齢者を取り残さない取り組み

ワクチン接種情報の周知の徹底や、個別支援の強化とともに、在宅療養中で寝たきり状態にある方など、個別接種や集団接種を受けることができない方を対象に自宅に訪問しての接種が始まっています。

